

I 学校教育及び運営

1 令和4年度 坂城町立南条小学校

グランドデザイン

坂城町の教育

【スローガン】

坂城の子は坂城で育てる

【目指す子どもの姿】

坂城のよさに気づき、地域を愛し、
坂城を誇れる元気な子ども

【子どもの育成のための5つの柱】

- ① 生きる力と基礎学力・体力の向上
- ② ものづくりを基本とした人づくり
- ③ 国際化社会を生き抜く子の育成
- ④ 幼保・小・中・高の交流連携
- ⑤ 多様化する子のニーズに応じた支援

地域・家庭との連携で子どもを育てる

- ◎PTAの活動
- ◎ビナス会(歴代PTA正副会長会)による支援
- ◎すこやか育成委員会による支援

地域コーディネーターが地域と学校をつなぐ

学校支援ボランティア

- ・南条っ子応援団
- ・安心の家・見守りボランティア
- ・地域講師によるクラブ活動支援
- ・ねずみ大根栽培指導
- ・長野大学・トレッキングクラブ等の協力

地域との窓口として期待する南条児童館

学校目標 **一人のかがやき みんなのかがやき**

～わたしがかがやく、あなたもかがやく、みんながかがやく～
(かがやいていない子どもはいない。自分がかがやいていることに気づき、
友だちもかがやいていることを認め、さらにみんなでかがやきたい。)

自立を目指す子どもの姿

思い合い

やさしい言葉で話し、
支え合い、自分や友だちを大切にしようとする子ども

学び合い

問いを持ち、よく聴き、よく考え、ねばり強く学ぼうとする子ども

鍛え合い

自分の生活を見返し、汗を流し、心も体も健康に自分を高めていく子ども

合いとは仲間との高め合い

集団の中で育ち合う学級・学年・学校づくり

3つの合いの結果

坂城の人・こと・ものに学び坂城の役に立てる子ども

【チーム南条小の目指す教職員像】

- ・保護者や地域から信頼される先生
- ・子どもに寄り添い子どもと歩む先生
- ・アイメッセージに心がけ、子どもとの信頼関係を築く先生
- ・持ち味を活かし、仲間と共に学び続ける先生
- ・地域を愛し、地域に根付いた教育を実践する先生



本年度の重点：多様性を包み込み自分らしく学ぶことができる学校づくりの推進

～自分のよさを自覚し自己肯定感を高める子ども～

- 1、誰一人取り残されることなく子ども同士で学び合う授業づくり(かがやきモードで学ぶ子ども)
- 2、一人ひとりが自分のよさに気づき、自分らしさを発揮できる学級づくり(探究的な学びの中で育つ子ども)

5つの柱に沿った具体的な取組と実践化

生きる力と基礎学力・体力の向上

授業づくり(かがやきモードで学ぶ)【重点1】		学級づくり(探究的な学びで育つ)【重点2】	
・一人一台端末を活用し、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させた授業。 ・かがやきモード(4人グループ)の中でヘルプが言え、仲間同士で教え合い学び合える授業。 ・子どもを信頼し任せる教師。一斉指導からの脱却。 ・授業の流れがわかり、目的地(ねらい)がわかる板書。 ・ねらいの達成を自己評価し、自己肯定感を高めることにつながる振り返りの継続。		・地域素材をウェビングマップ化し、教科横断的なカリキュラムマネジメントの作成。(ピオトープ、ねずみ大根、バラ等) ・「坂城発→全国経由→坂城着」の単元展開 ・探究的なプロセスを自覚し学習の手順を身につける。 ・自分の意思や判断で活動できる時間や場を保障する。(自分から求めて学び自分のやりたいことに没頭する時間) ・自分らしく課題を解決し、自分のよさに気づいていく。	
道徳科	特別活動	外国語・外国語活動	特色ある活動
・道徳的価値に根ざした問題意識をもち自分との関わりで考えを深める授業。 ・中心発問や問い返し工夫。	・児童会主体のあいさつ運動、特技大会等 ・地域講師に学ぶクラブ活動	・英語専科・ALTを活用しコミュニケーション力を高める授業 ・低学年からの英語に親しむ活動	・地域に支えられ愛される金管バンド ・体幹や調整力を鍛える体みがき
もの作りを基本とした人づくり	国際社会を生き抜く子の育成	幼保・小・中・高との連携	多様化する子のニーズに応じた支援
・地域産業を生かしたものづくり ・相手の立場に立ったものづくりの活動 ・友と協力したものづくり	・中国上海市の小学校との相互交流 ・ALTとの国際理解交流 ・国際交流村	・幼保での支援(すくすく相談応援カード・プレ相談シート)の移行支援での引き継ぎ ・「オール坂城」を合い言葉にした共通理解	・特別支援教育と低学年教育の充実で早期適時対応 ・Q-U図を有効活用した児童理解と学級づくり ・チーム支援体制の充実(支援者の柔軟的配慮) ・教育相談の充実

坂城に生き、坂城を愛し、坂城のために役立つ子どもを育成

